

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

大図研京都支部 新支部委員の分担決まる！

去る10月17日に行われました2000年度第1回支部委員会で委員の任務を下記のように決定しました。

- ・支 部 長 井上雅人氏（立命館大学図書館情報課）
- ・事 務 局 長 大館和郎氏（京都学園大学総合研究所事務室）
- ・支 部 報 編 集 田北十生氏（京都橘女子大学企画広報課）
- ・支 部 報 発 送 金森孝之氏（京都大学経済研究所図書室）
- ・ML・HP管理 呑海沙織氏（京都大学附属図書館情報管理課）
- ・研 究 企 画 井上雅人氏（前出）、呑海沙織氏（前出）
- ・組 織 計 画 金森孝之氏（前出）
- ・会 計 大綱浩一氏（京都大学附属図書館）
- ・委 員 篠原俊夫氏（京都大学総合人間学部図書館）
- ・全 国 委 員 井上雅人氏（前出）

忘年会のご案内（p4参照）



目 次	大図研京都支部新支部委員の分担決まる！……1頁
	自主的研究種をさらに発展させるために……2頁
	会費納入のお願い……3頁
	お知らせ……3頁
	支部忘年会のご案内……4頁
	第1回支部委員会の報告……4頁
ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで 編集気付（dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp）田北まで	

自主的な研究活動を さらに発展させるために

= 新しい世紀にふさわしい支部の研究活動として =

井上 雅人

先日、大図研の30周年記念集会在東京の日図協会館でおこなわれました。私は翌日の全国委員会に出席することになりましたので、この集会にも参加することができました。

集会では第1部の基調講演として大図研の研究活動を常に牽引されてこられた柴田正美三重大教授が『明日の大学図書館を担うために－研修と研究の周辺－』というテーマで講演され、第2部では『大図研 過去／未来』と題し、初代委員長であり、京都支部の大先輩である酒井忠志さんと愛知支部で若い力を発揮されておられる黒柳裕子さん（豊橋技科大）の対談がありました。

詳細は後日、何らかの報告集に掲載されると思いますが、特に私の印象に残っているのは、柴田先生が『かみかた機械化研究グループ』（この名前に懐かしさを感じる方は私だけではないでしょう。）を組織された時の経験として、一人一人の研究会メンバーが「お客さん」にならないよう、さまざまなルールを決めて運営されたお話でした。

京都支部でもここ数年、いろいろな研究会をおこなってきましたが、私自身の反省も含めて、「お客さん」になっていたような気がします。何よりもじっくり腰をすえた研究テーマを持ちえていたかと自問しますと、いささか心もとない気持ちがします。

そんな思いでこの原稿を書いておりますと、『図書館雑誌』の11月号が届きました。何気なくページをめくっておりますと、『図書館とインターネット活用術』という特集の中で慶応大の糸賀教授の「司書は救われるのか、掬われるのか-図書館にとってのインターネット」という、いささかセンセーショナルな論文が目にとまりました。「面白そうやないの」とばかり一気に読んでしまいました。

糸賀教授はインターネットに代表されるような現在のIT革命の進行過程にあって、図書館の対応が不十分であること、さらには司書制度に対する危惧の念が表明され、「問題はすでに図書館に勤務している現職図書館員（司書に限らない）に、どのようにして『電子図書館』に対応しうるスキルと知識を身につけさせるか」であると主張される。

私の勤務する大学でも図書館業務に関して大胆なアウトソーシングを実施する中、専任職員にいかにか専門的・とりわけ情報技術をつけさせるかが、大きな課題となっており、共感する部分が多いものでした。

そこでここ数年の大図研京都支部の研究活動を振り返ってみますと、確かにその時々
の時宜にかなったテーマで研究会や見学会をおこなってきました。それは京都支部の力量の
現れでもあり貴重なものでしたが、果たして職場に持ち帰ってどれくらい生かしえただろ
うか、自主的な研究意欲に対する動機づけになっただろうか、さらには大図研会員以外の
図書館員にアピールできたでしょうか、などと考えるとやはりもの足りなさを感じます。

特定のテーマに対し様々な角度から分析し、それがさらなる研究意欲をかきたて、結果
的に職場でも生かすことができるような研究企画が必要ではないでしょうか。

テーマとしては「ネットワーク図書館」、「電子図書館」ということで、連続した講座形式
になるのでしょうか。とにかく人、モノ、カネの面で大きな取り組みになりますが、現在の
京都支部の力量からいって不可能ではないと思いますし、過去にも経験があることです。

参加の対象も大図研の会員に限定せず、幅広い図書館の方にアピールできるよう、準備
期間も十分にとって、これまでにない広報活動をおこなう必要があるでしょう。そして、
こうした取り組みを通じて新しい若いエネルギーを大図研に迎えることができれば、とも
考えております。

概要が明らかになり次第、支部報や Yurikamome でお知らせしますが、皆さんの積極的
なご意見をぜひいただきたいと思ひます。

(いのうえ まさと/立命館大学総合情報センター・情報管理課)

会費納入のお願い

2000年度会費の納入をお願いします。1999年度会費未納の方は至急
会費の納入をお願いします。

会費についての問い合わせは財政担当支部委員
又は、最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。

お知らせ

東京大学の国立大学制度研究会の報告書

「国立大学の法人化について」(2000年10月3日)

の全文(46頁)が、pdfファイルの形式で下記のサイトに掲示されています。

(Acrobat Reader4.0以上が必要)

<http://jvm2.vm.a.u-tokyo.ac.jp/Kaken/ref/u-tokyo-dokuhou.pdf>

支部委員田北十生氏のメールアドレスが変わりました。

新アドレス→ dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp



支部忘年会のご案内

20世紀も残すところ、1ヶ月あまりになってしまいました。
今年は京都での全国大会も成功させ、実りの多い年ではなかったでしょうか。
さて、2000年の最後を飾る京都支部の忘年会を以下のようにおこないます。
会員にみなさんの積極的参加をぜひお願いいたします。

日時：2000年12月7日午後7時より

場所：「ばんぷきん」電話：075-722-8517 百万遍交差点から徒歩5分

会費：4000円程度

詳しくは以下のURLをご参照ください。この地図の黒十字のある場所です。

<http://kokomail.mapfan.com/receive.cgi?MAP=E135.46.44.7N35.01.35.8&ZM=11>

なお、ご出席の際はメールでご返事いただくか、最寄の支部委員までお知らせください。



第1回京都支部委員会

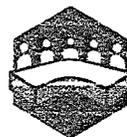
日時：2000年10月17日（火）午後7時～9時
場所：京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ
出席：井上、大館、大綱、呑海、篠原

【報告事項】

なし

【審議事項】

1. 支部委員任務分担について
 - ・支部長 井上
 - ・事務局長 大館
 - ・支部報編集 田北
 - ・支部報発送 金森
 - ・MLおよびホームページ担当 呑海
 - ・研究企画 井上、呑海
 - ・組織 金森
 - ・会計 大綱



- ・全国委員 井上（本人が出席できない時は、他の支部委員が代理で出席）

* 篠原支部委員については任務割り当てを保留する。

2. 今年度の活動について
 - ・12月中旬に忘年会を兼ねた例会をおこなう。
 - 企画内容については次回支部委員会で討議
3. 次回支部委員会 11月7日（火）pm19:00～21:00
於 京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ